



新穂の穂り

いじめを感じる心で、防止・解決へ

校長 大谷直治

生徒主体のいじめ根絶に向けた「仲間づくり集会」が開催されました。実行委員会の企画・丁寧な運営で出された生徒の意見を重く受け止め、新穂中学校は、一層の明るい学校を目指します。

“「私」(被害者と仲良し→今は加害側)があなた”なら、どうやっていじめをとめますか？ 【生徒の意見】
*カナタ(加害者)、リン(被害者)、リサ・ナツコ(観衆者;加害者の同調者)

- ・クラスに仲間をつくる ・他の人を呼んで対抗する ・リンと一緒に行動する ・カナタの親に相談する
- ・味方を増やして敵を減らす ・自分の気が強かったら言える ・仲間を作ってカナタに直接言う
- ・実態をクラスのみみんなに聞いてみる ・先生に言う・みんなが納得する解決策を考える時間をもつ
- ・カメラで証拠をとり見せる(教育委員会、先生) ・カナタになるべく近づかない ・リンの机に手紙を入れる
- ・先生に報告して朝学活で話し合う ・カナタ派じゃない人と同盟を組む、カナタ勢力に対抗する
- ・リンと一緒に先生に相談に行く ・カナタを1人にさせてリンの気持ちをわからせる
- ・親やクラスの友達に相談する(友達が怖くて断られても説得してどうにかする) ・みんなで話し合う
- ・自分とリンの方にカナタの仲間を引き込む ・風助にいじめをやめるように言ってもらう
- ・リサとナツコに仲間になってもらえるように声をかけてカナタ以外の人を仲間にする
- ・リンやクラスメイトの前で謝らせる ・先生の下駄箱に手紙を入れる ・集団となって先生に言いに行く
- ・カナタへ同じ思いをもっている人に協力してもらう ・カナタの意見にのらないで、リンの味方になる
- ・カナタに名前を書かずにいじめをやめて欲しいと手紙を書く ・最初の場面で共感しない ・地域に広める
- ・カナタからもリンからも話をきく ・「いじめじゃない」とはっきり言う ・リンがカナタに間接的に交渉する

【新穂中学校教職員のいじめ対応10箇条】

- ① いじめ対応は、最優先の業務である。
- ② 生徒の心の痛みに気づく感性を磨き、未然防止に務める。
- ③ 心の痛みを情報を得たらすぐに管理職に報告する。
- ④ 痛みを気づく心の余裕のため、業務調整力を身に付ける。
- ⑤ 加害者のストレスを理解し、加害者の保護者と連携する。
- (いじめは加害者が始め、止めれば終わる)
- ⑥ 学級担任、部活顧問任せとしない。いじめを未然に防止する幅広い組織を管理職がつくる。
- ⑦ いじめ防止対策推進法(心身の苦痛を感じている)に基づき、毅然と対応する。
- ⑧ いじめかどうかの判断が難しい場合は、そのことを含めて被害者・加害者の保護者に確実に伝える。
- ⑨ いじめへの毅然とした対応のできる学校か、生徒、保護者、地域はいつもしっかり見ている。
- ⑩ いじめの加害者(・保護者)、被害者(・保護者)の関係を改善するのが現代の学校の使命である。

★仲間づくり集会閉会の挨拶

実行委員

今日の仲間づくり集会は、グループによって色々な意見や考えが出て、とても良い話し合いだったと思います。グループの中で違う意見や考え方を持つ人もいたかと思いましたが、リーダーを中心にまとまった話し合いの活動とおして、今まで関わったことのない人や苦手だと感じていた人も一度関わってみる事の大切さや、いじめをなくすためには先ず「いじめは止められない」という意識を変えることが大切だと思いました。今日の話し合いの活動で得た意見を参考に、今後の活動に生かしていきたいと思えます。

いじめを許さない生徒の行動と、その一環としての相談(先生、保護者)の両面から防止・解決へ

文化祭を振り返って

＜フロアプロジェクト長： さん＞

今年のプロアプロジェクトでは、恒例のパフォーマンス大会とファッションショー、そして地域交流〇×クイズをしました。

今年は、新穂中創立70周年というめでたい年でした。だから、ふさわしい文化祭にするために今までより、盛り上げようと短い時間の中で協力して準備をしました。放課後遅くまで残るのは大変でしたが、素晴らしい文化祭になりました。

長がつく機会があまりない私ですが、今回フロアプロジェクト長としてみんなをまとめる大変さを知ることができてよかったです。



＜栄光・歴史プロジェクト長： さん＞

栄光・歴史プロジェクトでは、創立70周年を記念して、会議室に今までの卒業写真や生徒会誌などを展示しました。部活動紹介や成績を紹介する教室が2Fマルチルームに変わりました。部活動紹介をカラフルにするために3色以上使うことを指示しました。

展示する場所や仕事が少し変わりましたが、みんな協力して仕事ことができました。準備が終わる時間も昨年より早くできました。とてもきれいに展示ができたと思います。来年はさらに盛り上がる文化祭にしてほしいです。

＜空間プロジェクト長： さん＞

今年文化祭は、創立70周年記念ということで例年以上に盛り上がった文化祭になりました。今年からプロジェクト数が削減となり、学級展示と空間が一緒になり仕事の量が増えました。それでも一人一人ががんばりました。学級展示は各学級委員が、より見やすいように工夫していました。しおりの作成は見やすくなる工夫をしました。

前日準備では、例年より早く準備を終えることができました。来年も今年以上になるようにがんばってほしいです。

＜3年合唱指揮者： さん＞



私は、指揮という経験が初めてでした。30人をまとめられるか不安でした。練習が始まると、みんなの真剣な気持ちが伝わってきて、(自分もがんばらなきゃ)と思いました。練習は、とてもうまくいきました。

当日は午後からでした。本番は、これまでの合唱の中で最高のできばえでした。指揮を初めて体験して、いろいろなことを学べてよかったです。

＜2年合唱指揮者： さん＞

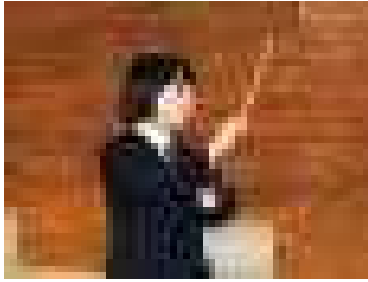


私たちは、「COSMOS」を歌いました。私は初めての指揮でした。みんなの前に立つのは苦手だと思っていましたが、やっていくうちにまとめられるようになってきました。出だしの言葉をはっきり歌うことをがんばりました。

そして本番、直前練習ではとても声が出ていました。2年生はトップバッターだったので緊張しました。出だしの声を大きく出すことができました。私も大きな動作で指揮を振ることができました。

来年はもっとお客様を感動させられる歌を届けたいです。

＜1年合唱指揮者： さん＞

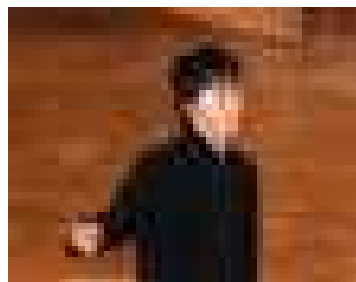
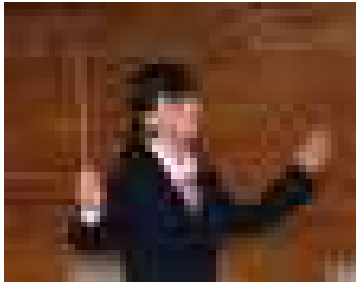


私は、自分で立候補して指揮者になりました。初めは、みんなをまとめるのが大変でした。

練習をしていうちに気が付いたことがあります。それは、出だしがずれてしまうということです。出だしが一番大事なところなので何度も練習しました。22人全員でブレスするところ合わせるようにしました。

文化祭当日は、サビの前の盛り上がりも完璧にできました。一番の課題だった出だしも、全員で心を合わせてきれいにそろえることができよかったです。

＜全校合唱指揮者： さん、 さん＞



今年の全校合唱は2曲ありました。私は、1回指揮をした経験があるので、余裕だと思っていましたが、久しぶりにしたので難しかったです。

「大切なもの」は、練習のときから全パートのハモリがとてもきれいで強弱や音程もしっかりととれていました。文化祭当日、私は指揮を間違えてしまいましたが、練習以上によい合唱でした。指揮をしている私まで歌い出したくなるほど素晴らしい合唱でした。佐渡市の音楽発表会でも、会場全体に全校生徒のきれいな歌声を響かせたいです。

生徒の活躍

＜ソフトテニス オール佐渡新人団体選手権大会＞ 11月5日(土)6日(日)

女子の部 優勝 ※県大会に出場
男子の部 第3位

＜バレーボール 佐渡市中学校1・2生大会＞ 11月5日(土)

女子の部 第2位 ※新潟地区大会に出場

＜東北電力作文コンクール＞

○秀賞 Hさん(3年)「美味しい」を広げたい

＜佐渡歯科医師会主催標語コンクール＞

○佳作 Mさん(3年)「歯磨きで 私の白い歯 フォーエバー」

＜第62回青少年読書感想文コンクール新潟県審査＞

○優秀賞 Mさん(1年)「自分」



12月の主な予定

6日(火) 生徒会立会演説会
7日(水) 生徒会選挙投票
9日(木) 薬物乱用防止教室
12日(月) 保護者会1日目、生徒朝会
13日(火) 保護者会2日目
14日(水) 保護者会3日目

19日(月) 球技大会
22日(木) 2学期終業式
23日(金) 天皇誕生日

12月25日(日)～1月6日(金) 冬季休業
1月10日(火) 3学期始業式、立志元服式



1年生 専門家講話② 10月19日(水)
講師 堅木宜弘 様 (学芸員)

【礼状より抜粋】

- 私は、佐渡に引っ越してきて、佐渡の歴史が分からなかったのので、知ることができてうれしかったです。
- 国分寺は、昔の人なのに、大きな建物を建てていてすごいと思いました。
- 新穂にも縄文土器が発見されたことを初めて知りました。
- 勾玉づくりは初めてでしたが楽しかったです。いい作品ができました。



1年生 専門家講話③ 10月26日(水)
講師 土屋正起 様 (佐渡トキ保護会副会長)

【礼状より抜粋】

- トキを毎日監察している正起さんにしか分からないことを教えてもらえてよかったです。
- トキの体重が1.5kg~2.0kgと聞いて、思ったより軽くて驚きました。
- トキにもいろいろな性格があり、「トキの社会も大変だろうなあ」と思いました。
- トキ汁があったということに驚きました。
- トキとサギの見分け方が分かりました。



1年生 専門家講話④ 11月4日(金)
講師 赤塚五行 様 (『朱鷺』里山句会 主宰)

【礼状より抜粋】

- 俳句についてたくさん知ることができてよかったです。
- 俳句を作るのは難しいけど、できたときの達成感を味わうことができました。
- まだまだ佐渡の文化のことを知らないのので、しっかり学びたいと思いました。
- 赤塚先生の指導で、私の普通の俳句がとても良くなりました。
- 佐渡の情景や風土を俳句にしてみたいと思いました。



3年生 生き方講話③ 10月21日(金)
講師 浅島 誠 様 (東京理科大学副学長)

【礼状より抜粋】

- 佐渡の自然・伝統・文化は当たり前のように感じていたけど、先生の話聞き、あらためて佐渡はよいところだと思いました。
- サドマイマイカブリや地球の歴史の話がとてもおもしろかったです。
- 「本物を自分の目で見て驚きなさい」という言葉が印象的でした。
- 「楽な方に引っ張られるのではなく、地道な努力を続けること」の重要性を感じました。



